



GRAND
FRONT-END
OSAKA 2016

Grand Frontend Osaka 2016

ブース出店者様向け ご案内資料

フロントエンドの最先端

Grand Frontend Osaka 2016は、関西フロントエンドUGの主催するIT系のコミュニティイベントです。技術的な流れの早いフロントエンドの現場で、「最先端」をテーマにした尖ったスタイルのイベントをコンセプトに置いています。

同団体で今年3月に開催したFRONTEND CONFERENCE 2016がフロントエンドの「今」を語るイベントだったのに対し、本イベントでは、フロントエンド界隈の「これから先」を見据えるイベントとして企画を進めています。

今年は開催日程を2 DAYSに拡大し、初日に Try Tech Kansai と題したハッカソン企画を、2日目に Grand Frontend Osaka 2016 としてセミナー型のイベントを実施します。

フロントエンドの最新技術に実際に触れてみる！というコンセプトの体験型ハッカソン企画と併せて開催する事で、例年までの聴講形式だけだったイベントから、「新しいものを生み出す」イベントとして、技術者のクリエイティブな要求に応えようと考えています。

開催概要

Grand Frontend Osaka 2016 開催概要

公式サイト	http://kfug.jp/gfo2016/
日程	2016年 08月 27日・28日(土曜・日曜)の2日間
場所	大阪 梅田 グランフロント 大阪イノベーションハブ 〒530-0011 大阪市北区大深町3番1号 グランフロント大阪 ナレッジキャピタルタワーC 7階
運営	関西フロントエンドUG

Day1 「Try Tech Kansai」開催概要

「最新技術に触れてみよう」をテーマに、体験型のハッカソンイベントを開催します。技術ブースを通じたハンズオン企画や、ハックコンテストを通じた最新技術への挑戦などで「フロントエンドの最先端」×「クリエイティブ」をテーマにしたイベントです。

日時	2016年 08月 27日(土曜)
参加費	2000円程度 昼夜軽食つき
動員目標	60名

Day2 「Grand Frontend Osaka」開催概要

「フロントエンドの最先端」をテーマに、聴講形式のセミナーエVENTを開催します。ここでしか聞けないような、まだ誰も見たことのないフロントエンドの「これから」を、豪華な登壇陣を招いて検討していきます。

多方面で活躍する登壇陣を招いてのセミナーエVENTを実施するほか、イベント後半では、前日開催のハッカソンイベントの成果発表として、ハッカソン企画参加者によるLT大会を実施します。

日時	2016年 08月 28日(日曜) 10:00 - 18:00
参加費	無料
動員目標	150名

※ 参加費、開催時刻等は仮の段階で、企画・予算等の都合により若干変動する可能性があります。

Try Tech Kansai ブース参加者様へ

Grand Frontend Osaka 2016では、初日 8/27 に、メンター付きの体験型ハッカソンイベントを企画しております。フロントエンドの最新技術をテーマに、「知りたい」「作りたい」という2つの思いに応える事のできる、クリエイティブなイベント企画を目指しています。

ハッカソンイベントの流れ

[8/27] Try Tech Kansai 2016

AM(10) 開催 / 技術ブースによるショートセッション
PM(12) 昼休み、ランチ投入
PM(13) ハックタイム / ブースハンズオンなど
PM(15) 中間経過発表 / デザート投入
PM(18) 1 DAY日程終了 / 軽食投入
PM(21) 会場締め

[8/28] Grand Frontend Osaka 2016

AM(10) 開催 / セミナー
PM(16) セミナー / ハックコンテスト発表
PM(18) 2DAY日程終了 / 会場締め

※ 時間の記載は概ねの目安です。事前の調整または当日の都合で前後する可能性があります。

初日のハックタイムを通じて学んだ技術等を用いて作品を仕上げ、2日目のコンテストの際に成果発表を行う形で考えております。

ハッカソンイベント ブース出展者様へのお願い

ブース出展者様には、以下の内容をお願いする形になります。大変お手数ではございますが、登壇やハンズオン等ご準備などお願いお申し上げます。

- 初日の ブーススポンサーセッション(20分程度)
- 初日 お昼以降のブース対応(ハンズオンや技術相談等)
- 2日目、ハックコンテスト結果発表における審査参加

初日のブース参加につきましては会場設備の都合上、1団体様3名までのご招待とさせていただいております。ハンズオン等の企画をご検討頂く場合には、人数制限等も考慮に入れ、3名様内で対応可能な企画のご検討よろしくお願ひいたします。

ブーススポンサーセッション

イベント初日の午前中に、企画説明の後にブーススポンサー様のショートセッションを予定しております。

当日ブースで体験出来る技術の概要や導入方法など簡単にご説明いただきますと、参加者にとってもどのような技術が体験出来るのかが明確となり、交流も進むかと考えております。

セッション時間については10-20分程度を予定しております。

プロジェクタのサイズは4:3のスクリーンで、接続ケーブルは、HDMI / MiniDisplayPort / Dsub 25がご利用可能です。

午後のブース対応

午後からのハックタイムでは、ブースとして、長机(右写真)を用意させていただきます。

参加者が各自作業をすすめる中、質問等の応対を進めてもらいますようよろしくお願ひいたします。また当日は会場と別に20名程度の小部屋を用意させていただいておりますので、ハンズオン等のカリキュラムのご用意がございましたら、是非企画いただけますと幸いです。

ハンズオン等のタイムテーブルは当日参加者の質問受付状況等を加味しながら、他ブースとスケジュールを調整して柔軟に進めさせてもらいますようよろしくお願ひいたします。



2日目の審査対応

審査に関しては、審査方法も含め現在検討中ですが、概ねLTを聞いた感想での簡単なアンケートのご協力程度の負担をお願いする予定となっております。

技術ブース参加特典

- ご提供頂く最新技術を通じた来場者との交流・宣伝(2Days) *
- 開催後のコミュニティイベント開催のご支援 **

* 企業協賛活動、コミュニティイベントの広告・宣伝として企画をご利用いただけます。

** ご希望に応じて関西フロントエンドUGにて、開催日以降の勉強会企画等お手伝いさせていただきます。

Grand Frontend Osaka 2016

「フロントエンドの最先端」をテーマに、2014年から開催しているフロントエンドエンジニアのためのカンファレンスイベントです。ここでしか聞けないような、まだ誰も見たことのないフロントエンドの「これから」を、豪華な登壇陣を招いて検討していきます。

今年は、前日開催のハッカソンイベントと合わせて開催することで、聴講形式のスタイルに留まらないクリエイティブなイベントとして展開していきます。

多方面で活躍する登壇陣を招いてのセミナーアイベントを実施するほか、イベント後半では、前日開催のハッカソンイベントの成果発表として、参加者全員によるLT大会を実施します。

昨年の開催実績

グランフロント ナレッジサロン セミナールームにて 2015.08 に開催。

発表当時まだ α リリースであったAngular2のセッションや、ES2015で正式採用となったPromiseの話など、発表当時としては斬新だった内容も、現在の開発現場では姿を見せ始めているものが多く、発表の有意義さ・先見性を感じられる内容となっております。

<http://kfug.jp/events/2015/grandfrontendosaka/>

関西フロントエンドUGについて

関西フロントエンドUGは、HTMLやJavaScript,CSSといったWebフロント周りの製作技術をテーマに、関西で活発な勉強会開催などを行っているIT系コミュニティです。

毎月様々な勉強会を開催し、多数のエンジニア・デザイナーから参加を頂いています。学生サポートが数名在籍しており、情報系大学生や専門学生の参加も活発です。

Connpassコミュニティページ(2016/05時点の参加者:560名程度)

<http://kfug.connpass.com/>

もくもく会・もしやもしや会

自習形式のWebフロントに関する技術交流勉強会です。参加者各自課題を持ち寄り、自習形式で取り組んだり、似たような関心を持つ者同士で情報共有したりしています。

HTML5、JavaScript、CSSに興味がある人を対象としたもくもく会と、デザイン方面に特化したもしやもしや会とを、それぞれ月1回のペースで開催しており、毎回20-30人程度の参加を頂いております。

各種勉強会

もくもく会/もしやもしや会とは別に、毎月セミナーや会を開催しています。

デザイナー・エンジニアの各技術関心に合わせて、月ごとにテーマを定めて勉強会を実施しています。参加者だけでなく、毎回様々な登壇者からの登壇協力を頂いているのが特徴で、初心者でも気軽に参加・登壇しやすい雰囲気が保たれています。

運営・売上出納について

運営・収納に関しては、株式会社chatboxに委託しております。

<http://chatbox-inc.com/>

売上金に関しては、FRONTEND CONFERENCE の会場費・運営費に当てるほか
余剰が生じた場合には、関西フロントエンドUGにおける例月勉強会・イベントの費用とし
て充当します。

諸注意

- 掲載中のイベント情報は企画段階での内容のため、運営進行上一部変更となる場合
があります。
- 天変地異などやむを得ない事情によりイベントの開催が不可となった場合でも、ご
協賛金の返金が出来ないケースが御座います。ご了承の程お願い致します。

問い合わせ

イベントに関する問い合わせ、スポンサープランに関するお問い合わせなど、お気軽に
FacebookページまたはEmailにてお寄せ下さい。

Facebook ページ <https://www.facebook.com/grandfrontendosaka2016/>
Email kfug@chatbox-inc.com

改訂履歴

- 2016.07.09 初版 公開



Kansai
Front-end
users group